

陸域観測技術衛星2号「だいち2号」(ALOS-2)の PALSAR-2アンテナ展開の運用状況(途中経過)について

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、陸域観測技術衛星2号「だいち2号」(ALOS-2)のミッション機器の1つであるLバンド合成開口レーダ(PALSAR-2)(※1)のアンテナ展開(第1翼展開)が平成26年5月25日12時38分(日本時間)に勝浦局で受信したテレメトリデータにより正常に行われたことを確認いたしました。

引き続き、第2翼展開作業を段階的に継続し、適時運用状況をお知らせいたします。

現在、衛星の状態は正常です。

(次回のお知らせ予定)

次回は、「だいち2号」のLバンド合成開口レーダ(PALSAR-2)アンテナ展開結果について、5月26日 6時30分頃(日本時間)にお知らせする予定です。

「だいち2号」の運用に関する情報につきましては、上記以外についてもJAXAウェブサイト内「だいち2号特設サイト」にて随時ご覧いただけます。

【<http://fanfun.jaxa.jp/countdown/daichi2/index.html>】

(補足)

- ・(※1) Lバンド合成開口レーダ(PALSAR-2) :
1.2GHz帯のマイクロ波Lバンドを利用した合成開口レーダ(PALSAR-2: Phased Array type L-band Synthetic Aperture Radar -2)(パルサーツー)は、天候や昼夜の影響を受けず観測可能なレーダです。10mの分解能を有する「だいち」に搭載されたPALSARから高性能化を図り、分解能1~3mのデータを得ることが可能です。また、右側しか観測できなかったPALSARに比べ、PALSAR-2では左右観測機能をもたせることで、観測可能範囲が3倍程度(870kmから2320km)に広がっています。